

令和2年度受賞

伊勢崎市立境西中学校

推薦者：伊勢崎市長

活動をはじめた時期：平成28年4月

～活動報告～

家族との絆を深め、生徒の自己肯定感を高めるため、地域を巻き込みながら「西中生が作る弁当の日」を実施している。

自分で自分の弁当をつくることを実践した生徒たちは、自己の価値を認め、働くことの意味を知り、家族への思いやりを持つことができた。

地場野菜生産者との交流では、地域の特産である「ごぼう」を地域の生産者の協力を得て学校農園で作っている。地域の特産品の味や生産者の苦勞を知り、さらに自分でも育てて料理することでその価値に気付き、地域をもっと好きになることができた。

食生活に関心を高めた生徒から、生徒会活動で提案がされ、学校給食で実施する毎月の郷土食や行事食の日を「給食感謝デー（バランスよく残さず食べる日）」として、学校をあげて感謝の気持ちをあらわす「残量ゼロの日」を設けている。

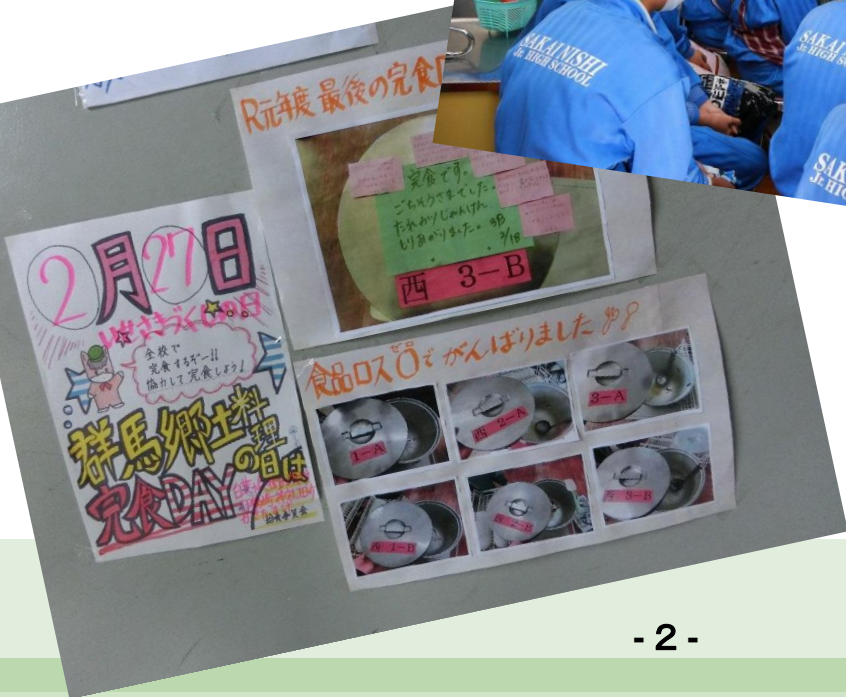
自分で作り・自分で味わい・自分で考えながら、やればできることを学び、自己肯定感を育む食育活動に取り組んでいる。

活動の様子

弁当の日



地場野菜生産者との交流



給食感謝DAY